

— 2017年度スローガン —

誇り高きあきたを“和”の心で未来へつなごう

～65年目を彩る 凛とした花となれ～

AKITA JC NEWS

2017年度
公益社団法人 秋田青年会議所
JC NEWS 8月号



◆8月例会を終えて

会員拡大委員会／金子 拓也

8月16日(水)、秋田市文化会館にて8月例会が開催されました。このたびの例会では、講師に株式会社佐々木常夫マネージメント・リサーチ代表取締役 佐々木常夫氏をお招きして、「私にとっての会社・仕事・家族 ～役割を意識したタイムマネジメント～」をテーマにご講演いただきました。

講演では、タイムマネジメントとは時間の管理ではなく仕事の管理だということ、仕事の効率化はコミュニケーションと信頼関係によって図ることができる、と佐々木氏は話されていました。佐々木氏が徹底的に効率にこだわるその根底には、家族や部下、周りの人たちを大切にする気持ちがあるということが、本講演を通して伝わってきました。

様々な立場や役割を持つ中で日々活動する我々にとって、非常に多くの気付きを得ることができました。大切なことはスキルそのものではなく、人としての基本的な感情である「周りを思いやること」であり、それぞれの立場や場面の中で即ちに実践できることを学ぶことができたと思います。

この例会で得た気付きや学びを無駄にせず、率先垂範で行動してまいりたいと思います。



◆伝統芸能継承事業と 秋田JC竿燈会の支援を終えて

あきたの誇り醸成委員会／小野 裕子

7月3日～7月28日の期間中、秋印株式会社様本社駐車場にて伝統芸能継承事業が行われました。

事業の間中は、梅雨の時期ということもあり、雨が降れば事業は中止という限られた状況の中ではありますが、多くの市民の方々に参加していただき、あきたの誇れる伝統文化である竿燈まつりに触れ合っていたことができました。



初めて竿燈に触れる方もいましたが、秋田JC竿燈会の演技を目の前で見たり親身になって教えてもらったりしていく中での、参加してくれた子供たちの頑張りや上達ぶり、真剣な表情には心打たれるものがありました。皆、事業を通じて技量だけではなく内面的な部分でもたくさん成長できたのではないのでしょうか。

また、8月3日～6日に行われた竿燈まつり本番でも、秋田JC竿燈会の支援をさせていただきました。事業に参加された親子の共演も目にするのができ、伝統芸能である竿燈まつりが親から子へと受け継がれていく様を目の当たりにして、長い歴史を誇る伝統芸能の継承を肌で感じることもできました。

最後となりますが、伝統芸能継承事業および竿燈会支援に参加していただいた皆様、秋田JC竿燈会の皆様、また、応援に駆けつけてくださった先輩方含め、事業に携わっていただいたすべての皆様に、この場を借りて心より御礼申し上げます。誠にありがとうございました。



JCニュース編集部から ～浦安青年会議所様との交流事業について～

今年1月に友好JC締結・調印を交わした公益社団法人浦安青年会議所様との交流事業が、8月11日(金)・12日(土)に行われました。

11日には合同LOM会議が開催され、今後の両LOM間の交流について、相互の周年事業への出席や、京都会議、サマーコンファレンス等の諸会議における懇親会の開催を旨とすることで合意しました。



12日にはブラウブリッツ秋田VSプリオベッカ浦安のサッカー親善試合が行われ、また、前日はブラウブリッツ秋田後援会主催のビアパーティーが催され、両LOMメンバーも参加・観戦して互いに親睦を深めました。

秋田市と浦安市、少し距離の離れた拠点で活動する両LOMですが、住み暮らす街を明るく豊かにしたいという志を同じくする仲間として、共に切磋琢磨してまいります。



9月例会予告

テーマ『経験の積み重ねの大切さを伝えよう！子どもの自立を促すお片付け～身近な生活から始める習慣づくり～』

講師にSunnyDays 代表 橋口真樹子(はしぐち まきこ)氏をお招きし、お片付けを通して身近なところから環境を変え生きる力を養い習慣づけることと子供たちへお片付けを自分事として捉えていただける例会を下記日程にて開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

日 時:2017年9月24日(日) 10:00～12:00 場 所:秋田県生涯学習センター

※詳しくは秋田青年会議所HPをご覧ください